

1 被災した事業者への支援について

(1) 政府系金融機関による無利子無担保融資等の活用

令和4年4月 仙台市

要望の背景

- ◆福島県沖を震源とする地震により甚大な被害が発生し、事業の再開にあたり、中小企業者等の資金繰りが困難となっている。

現状と課題

- ◆地震の影響を受けた中小企業者等を対象にセーフティネット保証4号が適用されたが、新型コロナウイルス感染症の保証枠と同じ枠であり、既に新型コロナウイルス感染症の影響で多くの融資が実行されていることから、今般の地震により被災した場合でも、追加の融資が受けられない可能性がある。
- ◆今回の地震を受けて、日本政策金融公庫の災害復旧貸付が利用可能となっているが、低利ではあるものの、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けた被災事業者への負担は大きい。

本市における新型コロナウイルス感染症に係るセーフティネット保証等認定件数（令和4年3月23日現在）

SN4号	SN5号	合計
7,948	1,282	9,230

※セーフティネット4号と5号は同じ保証枠である

日本政策金融公庫の災害復旧貸付の概要

	国民生活事業	中小企業事業
融資限度額	3千万円	1億5千万円
金利	1.22%～	1.07%～

※金利は令和4年3月1日現在

要望内容

- ◆被災事業者の事業継続や復旧に向けた資金繰り支援策として、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例措置に加え、政府系金融機関による無利子無担保融資等が活用できるようお願いしたい（経済産業省）

1 被災した事業者への支援について

(2) グループ補助金の活用

令和4年4月 仙台市

要望の背景

- ◆福島県沖を震源とする地震により、市内事業者に甚大な被害が生じ、事業の再開が困難な事案が生じている。

現状と課題

- ◆水道管の破裂や壁面の亀裂、ガラスの破損、機械の損傷など、様々な事業者の施設や設備に被害が発生している。特に、秋保温泉の宿泊施設では被害が甚大であり、営業の再開のめどが立っていない施設もある。
- ◆中小企業等グループ補助金の定額補助の活用にあたっては一定の要件が課される見込みである。

⇒新型コロナウイルス感染症の影響を受けているとともに、度重なる災害における過大な債務を抱えている事業者が対象 等

市内事業者・商工業団体等へのヒアリング結果（3月時点）（一部抜粋）

- 水道管の破裂、ガラスの破損、天井の水漏れ、壁面の崩落などが生じている。（宿泊施設）
- 組合員の半数以上で、壁面の亀裂、ガラスの破損、機械の損傷が生じている。（工業団地）
- 設備被害を受け、印刷機の稼働率が極端に下がっている。完全な復旧には時間を要する。（印刷工業組合）
- 床の盛り上がりや天井からの粉塵、壁の亀裂、商品の破損などが生じている（商業施設）

※経済局・文化観光局にて実施



ロビーの壁面崩落
※秋保温泉における被害の状況

要望内容

- ◆ **宿泊施設を始めとした被災事業者の施設・設備の復旧・整備を支援し、被災地域の復旧及び復興を促進することを目的とした、中小企業等グループ補助金について、迅速かつ柔軟な実施をお願いしたい（経済産業省）**

1 被災した事業者への支援について

(3) 雇用調整助成金の上乗せ等の特例措置

令和4年4月 仙台市

要望の背景

- ◆福島県沖を震源とする地震により、施設・設備の被害や交通手段の途絶等の影響による客足の減少から、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が雇用調整を行わざるを得ない事案が生じている。

現状と課題

- ◆施設・設備等が損壊した事業所には、早期の修復が不可能であることにより休業を余儀なくされ事業活動が阻害されている施設もある。
- ◆営業できる状態であっても、交通手段の途絶による客数の減少や余震への懸念から客足が遠のくなどの影響により売上が大きく減少し、観光・宿泊業に留まらない幅広い産業の事業活動に影響が及んでいる。
- ◆このような状況に置かれた事業主が事業活動を縮小せざるを得ない期間の雇用を維持し、早期の回復につなげるためにも、雇用を維持するための支援が不可欠である。

市内事業者・商工業団体等へのヒアリング結果（3月時点）（一部抜粋）

- ・施設・設備に被害が出て3月末までは休館が確定。上手くいってもゴールデンウィーク頃に再開。（宿泊業）
- ・年度末の書き入れ時に生産設備が停止し調整・点検の順番待ち。生産に遅れが出る可能性がある。（印刷工業組合）

※経済局・文化観光局にて実施

要望内容

- ◆ **新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例措置に加え、地震の発生に伴う経済上の理由により休業等を行う事業主が、労働者に休業手当を支払った場合の雇用調整助成金の上乗せ等の特例措置をお願いしたい（厚生労働省）**

1 被災した事業者への支援について

(4) 被災事業者の営業再開・継続の支援、旅行需要喚起等の追加実施

令和4年4月 仙台市

要望の背景

- ◆福島県沖を震源とする地震により、市内事業者に甚大な被害が生じ、事業の再開が困難な事案が生じている。
- ◆市内の宿泊施設では館内設備を中心に大きな被害を受け、特に被害が深刻な秋保温泉では営業再開の目途が立っていない施設もある状況。また、東北新幹線の運休等により、宿泊予約のキャンセルが相次ぐなど、春の観光シーズンの営業に甚大な影響を及ぼしている。

現状と課題

- ◆休館や規模を縮小して営業している被災事業者にとって、営業再開には多額の費用を要すること等が障害となり、復旧が中々進んでいない状況。

秋保温泉旅館組合加盟9施設のキャンセル状況（3月19日時点）

市内事業者・商工業団体等へのヒアリング結果（一部抜粋）

3/17(木)～3/31(木)	
件数	人数
2,897	8,794

- 水道管の破裂、ガラスの破損、天井の水漏れ、壁面の崩落などが生じている。（宿泊施設）
- 組合員の半数以上で、壁面の亀裂、ガラスの破損、機械の損傷が生じている。（工業団地）
- 設備被害を受け、印刷機の稼働率が極端に下がっている。完全な復旧には時間を要する。（印刷工業組合）
- 床の盛り上がりや天井からの粉塵、壁の亀裂、商品の破損などが生じている（商業施設）

※秋保温泉旅館組合記者発表資料より

※4月やゴールデンウィーク期間中の宿泊予約のキャンセルも続いている。

※経済局・文化観光局にて実施

要望内容

- ◆国による直接支援のほか、自治体が被災事業者の営業再開・継続に必要な融資を借り入れる際の信用保証料の補助等をはじめとする復旧支援や宿泊促進キャンペーンなどの追加施策を実施できるよう、財政措置をお願いしたい（経済産業省、国土交通省）

2 仙台城跡の災害復旧について

令和4年4月 仙台市

要望の背景・現状と課題

- ◆ 令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により、城内にある石垣の崩落や土塀に亀裂が入るなど、主に6か所で被害が生じている。今後の復旧事業は、東日本大震災時（石垣復旧に約3年）に近い規模となる可能性があることから、多額の費用を要することが見込まれる。



主な被災箇所（数字は写真に対応）



①石垣崩落



②石垣の変形（せり出し）



③土塀の亀裂

要望内容

- ◆ **史跡の保存と活用の観点から、通行者の安全確保も含め、再度の石垣崩落を防ぐための最新技術も活用した復旧事業をお願いしたい（文部科学省）**
- ◆ **石垣の復旧には最短で3年を要する見込みであることから、国庫補助金について、年度毎に必要な金額の迅速な交付をお願いしたい（文部科学省）**

2 仙台城跡の災害復旧について

令和4年4月 仙台市

◆東日本大震災により、仙台城跡では石垣の崩落・変形、土塀の崩壊、本丸東側崖面の亀裂などの被害が生じ、特に本丸北西石垣では3箇所で崩落しました。石垣の復旧にあたっては、原則として伝統工法に基づき行いましたが、一部で現代工法も導入しました。



- 東日本大震災時の主な復旧箇所
- 本丸北西石垣



被災状況（平成23年3月）



復旧作業状況（左：伝統工法に基づく石積みの施工状況、右：一部に導入した現代工法の施工状況）



復旧状況（平成27年2月）



令和4年福島県沖地震での被災状況（変形箇所）

3 指定文化財等の災害復旧について

令和4年4月 仙台市

要望の背景・現状と課題

- ◆ 令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により、市内文化財に被害が生じており、早期の復旧に向けた国の支援が必要である。



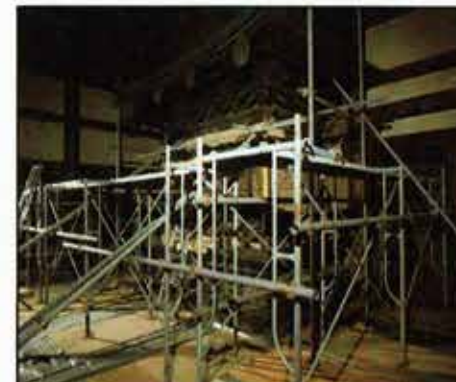
被害① 継ぎ目に隙間が発生



被害② 厨子のゆがみによる板壁の外れ



被害③ 漆喰に亀裂



厨子倒壊防止の補強
(陸奥国分寺)

要望内容

- ◆ 指定文化財については、国・県・市いずれの指定によるかにかかわらず、**原形に復旧する費用全額を国庫負担にてお願いしたい（文部科学省）**
- ◆ 登録文化財等について、**新たに救済制度を創設し、当該文化財を復旧する費用全額を国庫負担にてお願いしたい（文部科学省）**
- ◆ 指定文化財の復旧に早期に着手できるよう、**復旧手法等に係る国の承認手続き等の簡素化・迅速化をお願いしたい（文部科学省）**

4 被災した宅地の迅速な安全確保と早期復旧のための支援について

令和4年4月 仙台市

要望の背景・現状と課題

- ◆ 令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により、古い玉石積擁壁が崩れるなどの宅地被害が生じている。老朽化した宅地擁壁における耐震等の対策工事には「住宅・建築物安全ストック形成事業」といった既存の支援メニューがあるものの、個々の宅地被害に対する応急対策工事や復旧工事については対象とされていない。



宅地被害の分布（令和4年3月31日現在）



玉石積擁壁の崩壊

要望内容

- ◆ 擁壁所有者の安全を確保するとともに二次被害を防止する観点から、所有者自らが迅速に応急対策や早期復旧ができるよう財政措置の拡充をお願いしたい（国土交通省）

5 文教施設の応急対策や復旧に向けた財政支援について

令和4年4月 仙台市

要望の背景・現状と課題

- ◆ 令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により、半数を超える市立学校において壁の亀裂や天井の落下、漏水等の被害が生じているほか、給食提供施設での天井落下等の被害も生じている。また、博物館での展示設備等の破損など、公立社会教育施設においても大きな被害が生じており、多額の費用を要することが見込まれる。



学校施設の高架水槽破損



学校施設の天井落下



給食施設の空調設備落下



博物館の展示ケース破損

要望内容

- ◆ **公立学校施設の早期の復旧に向け、公立学校施設災害復旧費国庫負担法による負担金の補助率の引き上げを図るとともに、その負担にあたっては原形に復旧する費用のみならず、今後の地震災害に備えた改良復旧する費用を対象とするようお願いしたい（文部科学省）**
- ◆ **公立社会教育施設の災害復旧に要する経費について、公立社会教育施設災害復旧費補助金による財政支援を行うとともに、早期の復旧に向け、迅速な国庫補助の決定をお願いしたい（文部科学省）**

6 その他公共施設の応急対策や復旧に向けた財政支援について

令和4年4月 仙台市

要望の背景・現状と課題

- ◆ 文教施設以外にも、スポーツ施設や文化施設、社会福祉施設等において、外壁の破損、内壁・天井の破損、設備損傷などの被害が発生しており、市民生活に大きな影響を及ぼしている。



仙台市体育館 第一競技場の特定天井の破損



太白区文化センター 劇場内舞台天井の振れ止め30か所破損

要望内容

- ◆ **災害復旧に係る国庫補助の対象範囲の拡大や補助要件の緩和、補助率の引き上げなど、十分な財政措置を図るとともに、その負担にあたっては原形に復旧する費用のみならず、今後の地震災害に備えた改良復旧する費用を対象とするようお願いしたい（内閣府、総務省、財務省、厚生労働省、文部科学省）**